

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2008-29706(P2008-29706A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-208415(P2006-208415)

【国際特許分類】

A 4 6 B 3/08 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月25日(2009.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動車洗浄用あるいは車両洗浄用の洗車機用洗浄ブラシにおいて、前記洗車機用洗浄ブラシは、軸体、及び複数の連結体を有し、前記連結体は、台座、及びブラシ片を有すると共に、前記ブラシ片は、前記台座の外周部に形成されており、前記台座は、前記軸体の側方から、該軸体に着脱可能に固定されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項2】

請求項1記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、互いの台座が着脱可能に連結されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項3】

請求項1又は2記載の構成よりなる洗車機用洗浄ブラシにおいて、台座が軸体の外周部に円周等分され、且つ前記軸体に着脱可能に固定されてあることを特徴とする洗車機用洗浄ブラシ。

【請求項4】

駆動源と、被洗浄面に散布する洗浄剤及び水を噴出させるノズルと、洗浄後の被洗浄面を乾燥させる乾燥手段を備えると共に、請求項1から3のいずれか1項に記載の洗車機用洗浄ブラシを搭載したことを特徴とする洗車機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1の洗車機用洗浄ブラシは、前記台座が、前記軸体の側方から、該軸体に着脱可能に固定されてある。したがって、軸体に対して、ブラシの取付け、取外しにおいて、安全、迅速かつ容易にできる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項3の洗車機用洗浄ブラシは、台座が軸体の外周部に円周等分され、且つ前記軸体に着脱可能に固定されてある。したがって、回転バランスを均等にできる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項1の洗車機用洗浄ブラシは、軸体、及び複数の連結体を有し、前記連結体は、台座、及びブラシ片を有すると共に、前記ブラシ片は、前記台座の外周部に形成されており、前記台座は、前記軸体の側方から、該軸体に着脱可能に固定されてある。その為、軸体に対して、ブラシの取付け、取外しにおいて、安全、迅速かつ容易にできる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項3の洗車機用洗浄ブラシは、台座が軸体の外周部に円周等分され、且つ前記軸体に着脱可能に固定されてある。その為、回転バランスが均等に保持できる為、ブラシを高速回転で使用することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第1の発明は、自動車洗浄用あるいは車両洗浄用の洗車機用洗浄ブラシにおいて、前記洗車機用洗浄ブラシは、軸体、及び複数の連結体を有し、前記連結体は、台座、及びブラシ片を有すると共に、前記ブラシ片は、前記台座の外周部に形成されており、前記台座は、前記軸体の側方から、該軸体に着脱可能に固定されてある為、軸体に対して、ブラシの取付け、取外しにおいて、安全、迅速かつ容易にできる。その為、ブラシの取付け、取外しの作業時間が短縮できると共に、作業の簡素化ができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

第3の発明は、第1又は第2の発明の洗車機用洗浄ブラシにおいて、台座が軸体の外周部に円周等分され、且つ前記軸体に着脱可能に固定されてある。その為、回転バランスを均等にできる為、ブラシを高速回転で使用することができる。その為、極めて高い洗浄性と安全性を兼ね備えた非常に優れた洗車機用洗浄ブラシを使用することができる。